

M2MやIoTに最適。ベストセラーマイクロサーバー「OpenBlocks」シリーズの

IoTルーターエディション「OpenBlocksA7/IoTR」を投入

～FOG コンピューティングやIoT エッジコンピューティングを可能とする
汎用 OS 兼ルーター機能内蔵マイクロサーバー～

2014年3月6日、マイクロサーバー大手のぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、M2MやIoT（Internet of Things：モノのインターネット）通信に対応し、ルーター機能を内蔵したマイクロサーバーの新モデル「OpenBlocks A7/IoTR」を発表しました。

「OpenBlocks シリーズ」は大手通信事業者をはじめとして、電力監視やセンサーネットワークなどのM2M分野に豊富な導入実績をもち、近年ではM2MやIoT分野のネットワークゲートウェイ装置として多数採用されています。

「OpenBlocks A7/IoTR」はOpenBlocks A7の高い汎用性と豊富な拡張性はそのままに、近年需要の激増するM2MやIoTシステムに対応するIoTルーターエディションのマイクロサーバーです。

広範囲で多様なセンサーからの情報を収集・加工・伝送できるルーター機能付きIoTサーバー

近年、M2Mよりも対象センサーや機器が大幅に増えたIoTが広がり始め、広範囲で多様な種類のセンサーや機器が接続される傾向にあります。そのため、取り扱うプロトコルの数や情報量も増加し、データセンターや、クラウドシステムとのやり取りに高度な通信処理が必要となっています。また、これらローカル機器からのデータや情報はクラウドやセンターサーバーへ送る前に処理や加工が必要になる場合もあります。

「OpenBlocks A7/IoTR」は、汎用LinuxサーバーであるOpenBlocks A7をベースとし、拡張性に優れたインターフェースを持つ他、インターネットでの標準プロトコルTCP/IPはもちろん、IEEE1888、REST、SOAPなどの高度な広域インターネットプロトコルへの対応、データの加工や処理・判断のための柔軟で高度なプログラミングが可能です。またOracle Java SE Embeddedが搭載されており、既存のソフトウェア資源を、高い移植性を活かし動作させることができます。

加えて、ルーター機能の強化により、多拠点・多地点へのIoT展開が安定かつ容易に実現可能となりました。今後のIoTサーバーに必要なローカルエッジにおける情報処理の実現とともに、従来はルーター+サーバーの2機種構成であったシステムを1機種で実現します。

IoTルーターエディションのマイクロサーバーである「OpenBlocks A7/IoTR」を使用することにより、システム構築の際に機器を削減でき、機器構成がシンプルになり、システム管理のコストも削減できます。

「OpenBlocks A7/IoTR」の特長

- ルーター機能の搭載
M2MやIoTのインフラを維持・管理するためのルーター機能を搭載しています。
- プログラマブル

OpenBlocks A7 をベースハードウェアに採用し、高速な CPU と 1GB のメインメモリを標準搭載しました。Linux 公式カーネルがサポートしている機種であり、Oracle Java SE Embedded の使用も可能なため、柔軟で自由度の高いプログラム処理が可能です。

● 多様なネットワークアクセス

ローカルネットワークとアクセスネットワークへ同時対応可能なインターフェースをもち、センサーや制御機器等、多様なローカルデバイスが接続可能です。各種ローカルバスへの接続も可能でかつ、TCP、UDP、REST、SOAP 等多数の通信プロトコルを利用でき、LAN/WAN およびインターネット接続を容易に実現します。

<OpenBlocks A7/IoTR の構成>

| | 従来の構成 | | マイクロサーバーによる構成 |
|-----------------------------|----------------------------------|--------------|---|
| | M2M ルーター等 | サーバーまたは PC 等 | OpenBlocks A7 / IoTR |
| ルーター機能 | ○ | × | ○ ルータ機能をソフトウェアで実現 |
| ローカルデバイス 接続機能 | ○ Ethernet RS-232、RS-485 等 | × | ◎ Ethernet、RS-232、RS-485 等に加え、USB、Wi-Fi、Bluetooth、ZigBee、RFID、PLC 等多数の機器に対応可能。また、ローカルバスプロトコル自体のカスタマイズが可能で各種の広範囲な装置に接続可能。 |
| アクセスネットワーク 接続機能 | ○ Ethernet、3G 等 | △ | ◎ Ethernet、3G 等に加え、衛星モデム等も接続可能。また、ソフトウェアについても、HTTP、REST、SOAP 等の広範囲なインターネットプロトコルに対応可能。 |
| プログラミング機能 (クラウドサービスとの接続) | × | ○ | ◎ 汎用 Linux OS によりプログラムが容易。また、JAVA 等のミドルウェアやフレームワーク等が利用可能なため、プログラミングが自由自在。 |

本表は M2M/IoT ネットワークでの機器構成を特徴的に説明したものであり、個別の具体的な製品での一般的な仕様を比較もしくは説明したものではありません。

製品詳細

■概要

- 名称 OpenBlocks A7/IoTR
- 型番 OBSA7P/RDPJ7
- 参考価格 (税別) オープン (数量、構成等により異なります)
- ※ 3G、RS-485 オプション対応可能 (製品出荷時オプション)

■ハードウェア仕様

ゼロスピンドルで壊れづらく、小型、低消費電力と M2M や IoT に最適なフォームファクタです。汎用 OS や大容量メモリを搭載しているため、汎用の開発言語が使用可能です。メモリやストレージも搭載可能なため、システム設計が柔軟に行えます。

・ OpenBlocks A7

- CPU : ARMADA 310 (88F6283) 600MHz
- メインメモリ : 1GB (DDR3 SDRAM)
- Flash ROM : 256MB (NAND)
- ストレージ : 16GB HalfSlim SSD マウントキット含む
- 筐体サイズ : 81 (W) x 133.5 (D) x 32 (H) (ゴム足含まず)

重量 : 約 230g
動作条件 : 温度 : 0 ~ +55°C (PoE 受電時は 0~+50°C)、湿度 20 ~ 80%Rh
(結露なきこと) ACアダプタ含
電源 : ACアダプタ 5V または PoE受電 DC48V
消費電力 : アイドル時 6.6W /高負荷時* 7.7W
消費電力(PoE受電時) : アイドル時 5.5W /高負荷時* 6.4W

※ 全イーサネットポートをリンクアップし、stress コマンドにより CPU 100%の状態にして計測。SSD等の追加デバイスは未使用。

■OS/ソフトウェア

- OS
OpenBlocks AX3/A7 公式サポート Linux カーネル
および開発環境プリインストール
- Java
Oracle Java SE Embedded

■ルーター機能

- PPPoE 設定
- DNS リレー/キャッシュ機能
- DHCP サーバー/リレー機能
- Syslog 機能
- NTP サービス
- スタティックルーティング
- ソースルーティング
- NAT 機能
- パケットフィルタリング機能
- 仮想インターフェース機能 (Linux の IP エイリアス)

■ルーターの設定方法

CUI (SSH、コンソール、telnet)

■ローカルネットワーク・アクセスネットワークへの対応

- ローカルネットワーク対応
内部インターフェイス:
USB2.0 × 2
RS-232C × 2 ※1
外部インターフェイス:
10/100/1000BASE-T**2 ×2 (PoE 受電可)
USB 2.0 (Type-A) × 2
RS-232C (RJ-45) × 2 (1port はコンソールと排他)**1
RS-485 (オプション)

※1 外部 I/F と内部 I/F はそれぞれ排他

※2 Auto MDI/MDI-X 対応

- ・ アクセスネットワーク・LAN/WAN/3G 対応

国内 3G 通信※:

NTT ドコモ

NTT コミュニケーションズ

ソフトバンクモバイル

グローバル 3G/2G 通信※:

Vodafone 等

各種グローバルローミング SIM 対応

※ 通信モジュール内蔵 (オプション) により可能

関連 URL

http://openblocks.plathome.co.jp/products/obs_a/a7iotr/

出荷開始日

2014年5月(予定)

情報解禁日

2014年3月6日(木)0:00～

ぷらっとホームについて

ぷらっとホームは、創設当時の 1993 年に、まだ黎明期にあった Linux オペレーティングシステムを企業として初めて国内へ輸入・販売しました。また 1996 年には独自ブランドとして最初のオリジナルサーバーを出荷、2000 年に東証マザーズでの株式公開を果たしました。ぷらっとホームは、創業以来、日本の代表的なオープンソース OS 関連企業として、また数々の先端的なプロダクトの市場投入を通じて、企業におけるビジネスの立ち上げや運用を支え続けています。

本発表に関するお問合せ先

- 報道機関からのお問い合わせ先：
ぷらっとホーム株式会社 広告・マーケティング課 渡辺 美央
pr@plathome.co.jp
Tel 03-5213-4373 / Fax 03-3221-0882
- ユーザー向けのお問合せ先：
ぷらっとホーム株式会社 営業部 竹内 敬呂 (たけうち よしろ)
sales@plathome.co.jp
Tel 03-5213-4370 / Fax 03-3221-3766

* 外観・仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。

* ぷらっとホームおよび PlatHome の名称・ロゴは、日本国およびその他の国における、ぷらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。

* その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。